「神のもとへ導く」　2026年02月04日

キリストも、正しい方でありながら、正しくない者たちのために、罪のゆえにただ一度苦しまれました。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では殺されましたが、霊では生かされたのです。こうしてキリストは、捕らわれの霊たちのところへ行って宣教されました。これらの霊は、ノアの時代に箱舟が造られていた間、神が忍耐して待っておられたのに従わなかった者たちのことです。僅か八名だけが、この箱舟に乗り込み、水を通って救われました。この水は、洗礼を象徴するものであって、イエス・キリストの復活によって今やあなたがたをも救うのです。洗礼は、肉の汚れを取り除くことではなく、正しい良心が神に対して行う誓約です。キリストは天に昇り、天使たち、および、もろもろの権威や力を従えて、神の右におられます。（Ｉペトロ３：18～22）

著者は、「義のために苦しみを受けることがあっても、あなたがたは幸いです 。」「神の御心によるのであれば、善を行って苦しむ方が、悪を行って苦しむよりよいのです」と、善を行い、義のための苦難は幸いであると繰り返してきた。その理由を、「キリストも、正しい方でありながら、正しくない者たちのために、罪のゆえにただ一度苦しまれました。あなたがたを神のもとへ導くためです」と説明する。キリストの苦しみが福音の核心である。パウロは、ローマ書５章８～10節で、下記のように書いている。「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対する愛を示されました。それで今や、私たちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです 。」イエス・キリストは敵であった私たちの罪を赦し、義とするために、十字架で死んで、愛をお示しくださった。御子イエスの血によって神と和解させてくださり、神のもとへ導いてくださった。正しいイエス・キリストが、正しくない私たち罪人のために苦しまれたのだから、善を行い、義のために苦しむことは幸いであると説いている。イエス・キリストは十字架で死に渡されたが、復活して、霊において生きる者とされている。復活した霊のキリストは、罪に捕らわれていた霊たちの所に行き、罪と死に勝利されたことを宣教されている。

著者は突然、ノアの洪水物語を書き始める。地上に人の悪が増し、不法が満ちた。神は創造したことを悔い、人も動物も地から拭い去る決心をされた。この時、神に従う無垢なノア夫婦と３人の息子と妻たちを救おうとノアに箱舟を作ることを命じられた。ノアは箱舟を作り、ノアの家族８人とつがいの動物たちは箱舟に乗り込んだ。40日40夜の大雨で、地は水で覆われ、人も動物もことごとく息絶えた。滅ぼされた人々は神に従わなかった不信仰な霊たちである。ノアの家族８人は洪水を潜り抜けて救われた。この洪水は洗礼を意味する。洗礼は神による罪の裁きと、神に従う者への恵みの救いを意味する。あなたがたも洗礼を受けたが、今や、イエス・キリストの復活によってあなたがたは救われたのである。洗礼は、肉の汚れを取り除くことではなく、正しい良心が、神に対して行う信従の誓約である。キリストは、天に上って神の右におられ、宇宙的な諸勢力をも支配下に治める方である。著者は、キリストの十字架と復活による救いを語り、キリストの受けた苦難に繋がることによって、復活の命に与る。そこに、あなたがたを襲う苦難に耐える力を与えてくださると諭している。